

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築C A D 2	
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	Vectorworks2014 ベーシックマスター 秀和システム				
担当教員情報					
担当教員	吉田友寛、小池和仁		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
建築C A D 2では、Vectorworksの2 D機能を使用し、与えられた共通課題（木造住宅）の各建築図面作成およびプレゼンテーションシートの作成ができる技能を習得するとともに、各自が設計した住宅について、建築図面およびプレゼンテーションシートの作成を行い、デジタルデータ作品、ポートフォリオとしてまとめることを学習目的とする。					
到達目標					
建築C A D 2では、操作技能習得として、次の4点を到達目標とする。 ①木造住宅（共通課題）の建築図面作図ができる。 ②木造住宅（共通課題）のプレゼンテーションシートの作成、データの変換、P D F化ができる。 ③設計課題住宅（各自オリジナル）の建築図面作図ができる。 ④設計課題住宅（各自オリジナル）の、プレゼンテーションシートの作成、データの変換、P D F化ができ、ポートフォリオの作成ができる。					
教育方法等					
授業概要	設計した住宅を2 D・C A Dを利用し建築図面作成を行う。手書きの図面から、配置図、平面図、断面図、立面図、伏図、矩計図の作成手法を学び、プレゼンテーションシート、ポートフォリオを作成する。また他のソフトウェアでできるようC A Dデータを画像データに変換する手法も学ぶ。授業時間中に課題を出題。共通的な注意事項については講義を通して説明し、あとは個々の進捗にあわせ指導を行う。				
注意点	IoT社会において重要となる共有物としてのコンピューターの使用法、データ管理など、精密機器の取り扱いについて学ぶことを意識する。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理し出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上の出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション 2D・CADの基本設定		2D・CADを使い、建築図面作成のための基本設定ができる。		
2回	2D・CADの操作-1		木造住宅の建築図面（平面図）の作成ができる。		
3回	2D・CADの操作-2		木造住宅の配置図・平面図の作成ができる。		
4回	2D・CADの操作-3		木造住宅の屋根伏図の作成ができる。		
5回	2D・CADの操作-4		木造住宅の基礎伏図の作成ができる。		
6回	2D・CADの操作-5		木造住宅の断面図の作成ができる。		
7回	2D・CADの操作-6		木造住宅の立面図の作成ができる。		
8回	2D・CADの操作-7		木造住宅の矩計図の作成ができる。		
9回	2D・CADの操作-8		プレゼンテーションシートの作成と印刷ができる。		
10回	住宅設計課題の作図-1		設計製図2で取り組んだ木造住宅の平面図・配置図の作成ができる。		
11回	住宅設計課題の作図-2		設計製図2で取り組んだ木造住宅の屋根伏図・基礎伏図の作成ができる。		
12回	住宅設計課題の作図-3		設計製図2で取り組んだ木造住宅の断面図の作成ができる。		
13回	住宅設計課題の作図-4		設計製図2で取り組んだ木造住宅の立面図の作成ができる。		
14回	住宅設計課題の作図-5		設計製図2で取り組んだ木造住宅の矩計図、プレゼンテーションシートの作成ができる。		
15回	プレゼンテーションシートの作成 総まとめ		ポートフォリオの作成、CADのデータを変換、P D F化し印刷、保存ができる。		